

令和3年度佐賀大学研究者国際交流支援事業報告書

令和3年8月16日

国際交流推進センター長 殿

下記のとおり報告します。

1. 国際研究集会名	国際セミナー『伝統的磁器の最近の発展』		
2. 事業責任者 (申請者)	HAO DONG	3. 所属・職名	肥前セラミック研究センター・助教
4. 開催期間	令和3年7月30日～令和3年7月30日		
5. 参加者数 ※参加者名簿(様式任意)を添付	参加者数 <u>40</u> 名 うち、 <u>外国人</u> 数 <u>6</u> 名、 <u>学生</u> 数 <u>15</u> 名(修士課程以上)		
6. 支援金額	金額 <u>60,000</u> 円		
7. 招待講師	1. 所属 <u>景德鎮陶瓷大学</u> 2. 所属 <u>韓国窯業技術院利川分院</u> 職名 <u>教授</u> 職名 <u>博士研究員</u> 氏名 <u>Junming Wu</u> 氏名 <u>Jaegyeom Kim</u>		
8. 謝金支出額	金額 <u>60,000</u> 円		
9. 国際研究集会の内容	<p>16:00-16:05 開会挨拶 矢田光徳・佐賀大学肥前セラミック研究センター長 16:05-16:45 講演1 「リートベルト法による磁器の相組成と強度の関係に関する研究」 金宰謙 (Jaegyeom Kim) 韓国窯業技術院利川分院 博士研究員 16:45-17:25 講演2 「景德鎮の伝統的な磁器の生産工程におけるサイエンス」 呉軍明 (Junming Wu) 景德鎮陶瓷大学芸術文博学院 教授 17:25-17:30 閉会挨拶 HAO DONG 佐賀大学肥前セラミック研究センター 助教 ※ 講師講演30分、質疑応答10分</p>		
10. 特記すべき成果・波及効果	<p>肥前セラミック研究センター主催による2021国際セミナー『伝統的磁器の最近の発展』を2021年7月30日にオンラインにて開催し、大学教職員、学生、肥前地域関連する機関、KICET、景德鎮陶瓷大学など、延べ40名が参加しました。</p> <p>KICETからのKim博士は最近注目されている相組成分析用リートベルト法を紹介し、KICETの陶磁器部の最新の研究磁器の相組成と強度の関係に関する研究を報告しました。景德鎮陶瓷大学の呉教授はサイエンスの観点から景德鎮伝統的磁器の生産について紹介しました。景德鎮は中国の代表的な陶磁器の産地の一つであり、呉教授の講演に誰もが興味を持っていました。</p> <p>このセミナーは肥前セラミック研究センターが開催した初めての国際セミナーであり、景德鎮陶瓷大学と韓国窯業技術院との国際交流活動によるものです。これらは中国と韓国の重要なセラミック研究機関です。景德鎮陶瓷大学と韓国窯業技術院の研究を理解することは、参加者のためになります。また、国際的なセラミック研究組織を構築し、地域の発展に貢献するのにも適しています。</p> <p>今後ますます、肥前セラミック研究センターは国際交流を深めてまいります</p>		

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。